第9次
鹿角市行政改革大綱

令和2年度実行計画

令和2年5月 総務課

1. 令和2年度実行計画について

第9次行政改革大綱は、平成28年度から令和2年度までの5年間に、「共働の推進」「行政サービスの質の向上」「財政運営の効率化」の3つを基本的な視点として、具体的な改革に取り組むこととしています。令和2年度における取組み内容は、大綱の最終年として次のとおり設定します。

基本的視点	取組項目及び件数	令和2年度 実行計画	取組内容	
			計画期間中	令和2年度
1 共働の推進	0項目 0件	0件	社会経済情勢の変化に適応し、今後も本市を住みよいまちにしていくために、市民活動の促進と民間活力の活用により、公共サービスの向上に取り組めます。	(取組み完了済)
2 行政サービスの質の向上	2項目 4件	4件	より効率的な業務遂行のため、事務事業の具体的な見直しを行うほか、従来の行政サービスを多角的にチェックし、サービスの質の向上を目指します。	公金収納のキャッシュレス決済の導入や支所機能の最適化を図るほか、ICTを活用して議会提出議案等のペーパーレス化などを進めます。
3 財政運営の効率化	2項目 2件	2件 (うち新規1件)	長期的な視点で施設等の維持管理体制の合理化を図るほか、新たな収入源の確保に努め、持続可能な財政構造を構築します。	定型事務の集約化や公共施設の中長期的な更新のあり方を示す計画を策定します。
合 計	4項目 6件	6件 (うち新規1件)	※R01 までに実施済みの取組項目 ・ 1 共働の推進…… (市民ボランティアの活用、業務の民間委託) ・ 2 行政サービスの質の向上…… (学校施設の再編、選挙投票機会の拡充、簡易水道の事業統合、ホームページコンテンツの拡充) ・ 3 財政運営の効率化…… (高齢者サービスのあり方検討、ごみ処理関係業務の最適化、公立保育園のあり方の検討、受益者負担の最適化)	

※ICT (Information and Communication Technology) ……情報・通信に関する技術の総称。IT (Information Technology) 技術にコミュニケーションの要素を付加して、ネットワーク通信を利用した情報や知識の共有を重要視するもの。

2. 具体的な取組項目

1 共働の推進

1－（１）市民活動の促進 なし（市民ボランティアの活動など市民との共働の取組みは継続します）

1－（２）民間活力の活用 なし（民間委託や指定管理者制度の取組みは継続します）

2 行政サービスの質の向上

2－（１）業務の効率化

取組項目	実施概要	目標年次	令和２年度の計画	担当部署
電子自治体の推進	議会のICT化（ペーパーレス議会）の推進を図ります。	２年	タブレット端末の導入を図ります。（継続）	議会事務局
	スマート自治体を推進します。	２年	行政内部の手続きや外部とのやり取り（申請・証明手続き等）について、オンラインで行える手続きを整理します。（継続）	総務課

※スマート自治体……システムやAI・ロボティクス等の技術を駆使して、効率的・効果的に行政サービスを提供する自治体。

2 - (2) 行政サービスの拡充

取組項目	実施概要	目標年次	令和2年度の計画	担当部署
支所機能の最適化	支所窓口機能の最適化を図り、支所の統廃合について検討します。	2年	これまでの窓口機能拡充の取組効果と課題の検証結果を踏まえ、支所機能の整理と具体的な取組み方針を決定します。(継続)	市民課
使用料等の納付方法の拡充	公金の収納にキャッシュレス決済を導入します。	2年	税金等のキャッシュレス決済の拡大を図ります。(継続)	会計課

2 - (3) 組織力の向上 なし (人材育成や組織見直しなどの慣例的な取組みは継続します)

2 - (4) 危機管理能力の向上 なし (自治会等への防災訓練など地域防災力の向上を図る取組みは継続します)

3 財政運営の効率化

3 - (1) 事務事業等の見直し

取組項目	実施概要	目標年次	令和2年度の計画	担当部署
定型事務の集約化	電話、水道等の公共料金の支出事務を集約化します。	2年	公共料金を一括して起票及び支払処理を行うための対象料金の特定と効果を算出し、課題を整理します。(新規)	会計課

3 - (2) 持続可能な財政構造の構築

取組項目	実施概要	目標年次	令和2年度の計画	担当部署
公共施設管理の適正化	公共施設等総合管理計画の個別施設計画を策定します。	2年	公共施設の中長期的な更新のあり方を示す個別施設計画を策定します。(継続)	政策企画課